|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(15)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | |
| 2022年4月9日～ 4月10日週間祈りカード | | | |
| △産業宣教：237 と第1、2、3、RUTCの答え24  時空超越の答え(創1:1) | △核心訓練  神はキリスト者を用いない。ただ、キリスト者を用いる。(使1:1、3、8) | △レムナント伝道学：伝道者の生活と第1、2、3RUTCの答え24  レムナントの知性(詩78:70-72) | △散らされた弟子たち/237、5000を生かす第1、2、3RUTCの答え24  タラッパンの始まり(使2:1-13) |
| 時空超越の答えがなければ世界福音化できない。  □序論\_時空超越の戦争=祈り  1.奪われた状態  1)強大国－奴隷制度　2) 3団体－気功運動　3) 5000種族－呪術  2.RT7  創41:38ヨセフが持った力  Iサム17:1-47ゴリヤテに勝つことで時空超越の働きを起こしたダビデ  3.伝道運動、宣教運動のkeyの時空超越の中にいた産業人(重職者)  1)ヨケベデ、イテロ、ラハブ　2)ハンナ、エッサイ  3)オバデヤ　4)ダニエル、同僚　5)ロマ16章  △祈りを本当に知っている人が牧師のそばにいるなら、ものすごい武器になる。  □本論\_最後の宿題  1.三位一体の神様(働き) -目に見えないように時空超越する正確な働きをしておられる。  1)創造　　2)救い　　3)力  2.みことば－御座-みことばで時空超越する神様が御座の祝福で働かれる  私－御座化  プラットフォーム－私を御座化するとき、時空超越と237が出てくる  見張り場-御座の祝福(創1:27いのち、創2:7いのちの息、創2:17-18生活の中に)が出てくる。  アンテナ－私、教会、職業に空前絶後のことが行われる。  1)創12:1-3これが(四角)みな含まれている。アブラハムが悟ってから働きが起こった。  2)出3:18-20力ある御手であなたとともにいるしるしで、わたしがイスラエルの民を連れ出す。  3)詩103:20-22これを実際に分かるならば礼拝はものすごいことなのだ。  4)イザ40:1-31永遠のみことば(8)、偶像は神様でない(18)、主を待ち望む者(31)  3.祈り－伝道弟子は祈りで時空超越する。  3時代－過去、今日、未来。牧会者と重職者とRemnant。70人弟子が70現場と70か国を生かすことができる。  1)マタ28:16-20 「あらゆる国の人々に行きなさい」「天と地のすべての権威を持つわたしがあなたといつもともにいる」  2)マコ16:15-20 「すべての造られた者に行きなさい」「御座につかれた主が彼らとともに働かれた」  3)使1:3,8時空超越の最もキー(key)が「神の国とそのこと」違うことでは不可能だ。「ただ聖霊があなた方の上に臨めば」その時から「地の果てまで証人となります」  □結論  1.その時刻表の中にいる人　2.神様が定めておかれたその働き  3.神様が備えられたその場所で  △時代を見る目だけ開かれれば神様が注ぎ込まれるようになっている | 私たちの地域と南米を福音化する道-ただキリストで、できる。  □序論\_三つの待つこと  1.祈り-考えx、心配x 「離れずに」－考え、心配をせずに祈りながら待ちなさい。  御座の祝福－これが臨むように祈っていればいくつかのことが見える。  1)絶対主権- 「神様が私にこれをしなさいと言われるのだな」  2)絶対計画　　3)絶対契約　　4)絶対旅程　　5)絶対目標  2.ともに「聖霊の満たし」  力　- 「力を受けて」これが見える。  ただ福音　生かすこと-神様はその人を用いられる。この力が来るように待つのだ。  3.証拠(証人) 「証人」 -証人になると言われたから証拠を待つのだ。  わたしの証人- 「エルサレム、ユダヤ、サマリヤ、地の果てまで、わたしの証人になります」  1)私の証拠x(キリストの証拠)  2)時刻表- 「エルサレム、ユダヤ、サマリヤ、地の果て」  △宣教大会-カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間の契約を完全に回復する時間  3)見える地の果て-私にあった苦しみが地の果てだ。  □本論\_三つの答え(味わい－伝達)  1.使1:1ただ福音-隠れた変化、隠れた運命  (隠れた運命をひっくり返すために伝道、宣教しなさいと言われたこと)  △みなさんに問題が何か。私の考えをしてはならない。「神様の計画は何ですか」(序論1) 「ただ福音で生かすことが何ですか」すると、神様の力が現れる(序論2)。このとき「私は家を生かす証人だ」(序論3)答えを出すと感謝が出てくる。  1)新しい被造物(Ⅱコリ5:17) 　　2)みなさんを通して暗やみを縛る。  3)いまは新しい始まりだ。  2.使1:3御国－隠れた器、隠れた身分  1)主人　　2)運命　　3)身分を変える日  3.使1:8ただ聖霊-隠れた権威(最後の時代、混乱の時代に勝つ道)  △キリストとしてあかしされたその方が(使1:1)説明して(使1:3)約束されたこと(使1:8)を確実に多民族に伝達しなければならない。  1)理由－神様のみことばの前に理由はない。理由を分かるから。本当の理由が残っているから。  2)権威-上から与えられること　3)時空超越－「地の果てまで」  □結論\_黙8:3-5 -天使  正しい祈りは神様の祭壇の前にずっと積み重なって、神様が引き続き天使にお使いをするようにされる。この(本論)の答えが継続的に来る。宣教大会重要だから、契約を握って祈り始めるのだ。 | △霊性から出る知性、ダビデは霊性と知性を兼備  □序論  1.天才性-誰にでもある。両親、学校が自分のこと与えようとする。  2.天の天才性(エペ2:2、エペ6:12) -サタンに奪われている、3団体がみな持っていく  3.御座の天才性-神様が絶対的に準備されたRemnantのこと  □本論\_どんな旅程を行かなければならないのか  1.始まり－御座－私の中に→私を御座化  △この御座の力と祝福を私の中に!　祈り、一日、人生の始まり  1)創1:1 -私の中にみことばで  2)創1:3－光で  3)創1:27 -私のたましいを生かすこと  4)創1:28 -私のすべての生活の中に働き  2.過程－御座－現場、生活→現場御座化  △この御座のことが私が行く所、現場、生活に臨むように、感動、満たされれば現場が御座化  3.実－御座－伝達→学業、職業の御座化  △ここにより実が。御座の祝福、力が伝達され、すると学業、職業、産業が御座化  1)イザ6:13切り株－芽  2)ヘブ11:1-38ヘブル人への手紙の証人  3)使17:1、18:4、19:8パウロ-会堂に  □結論  1.正常ではない(特別) -正常ではない人に特別な天才性が隠されている。  2.今日－未来-今日の小さいことが人生を変えて未来となる。  3.霊的器－答えがなくても今日味わって霊的大きい器準備 | □序論\_タラッパンの意味  -真の弟子だけ来ること  1.キリストが終わらせられたこと－今から始まりであること  2.キリストでただ、唯一性、再創造をもって行くべき  3.光を照らす見張り場、多くの人々がくるように旗を差すこと  △キリスト、神の国最後の講壇、マルコの屋上の間で何したかを知らせるべき  □本論  1.タラッパンする以前  1)変えること－偽(マタ5-7章)  2)捨てること-肉(マタ13章)  3)味わうこと-三つの祝福(マタ16章)  4)使徒(マタ10章)  5) 70人(ルカ10章) 〕現場を生かす確実なミッション  6)カルバリの丘-すべてを終わらせたこと  7)オリーブ山－呼ばれる  2.タラッパン持続-神様の働きを持続するということ  1)五旬節－三つの祭り(使2:1-13)  2)使2:9-11チームの働きをする人を見つけること  3)使2:41-42各家でミッションホームが起こるように  4)使2:43-45現場で起きた専門家  5)使2:46-47毎日現場で毎日家で  3.伝道するタラッパン  1)使2:41 3千弟子  2)使3:1-12伝道しようと見ていて時刻表がきてしたこと  3)使4:1-5 数千人の弟子  □結論\_真の弟子の目標-ロマ16:25-27  その弟子が「神様が私を救って福音運動をするようにされるのだな」(私の福音、ロマ16:25-27)を悟らなければならない。 |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(15)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | |
| 2022年4月9日～ 4月10日週間祈りカード | | | |
| △区域メッセージ  残りの者、巡礼者、征服者が味わった私の24(使1:14) | △聖日1部礼拝  試みる者らの質問(マタ19:3-12) | △聖日2部礼拝/大邱ハナ教会237礼拝  237か国を見た人々(使1:8) | |
| 聖日(使2:17-18、未来)、本部(方向)、  霊的  世界  実  祈り手帳(道しるべ)、区域(点検、確認)、核心(整理)  △聖日には深い祈りの中で使2:17-18が出てきて、本部集会を通じて方向、祈りの手帳を開ければ道しるべ、区域メッセージを通じて点検および確認すれば、土曜核心で一週間のメッセージが整理される。この部分は目に見えない霊的世界にしたがって答えという実で来る。  □序論  1.残りの者(私の福音) -いくら残っていても、私の福音を分からなければ残りの者の価値がない  2.巡礼者(祈り－御国) -巡礼者は祈りを知っている人、考えを越えた祈り、神の国はものすごいこと  3.征服者(暗やみ戦争) -伝道を知っていること、暗やみとの戦いを知っていること  □本論  1.残りの者－みことばを中心にした祈り  1)福音価値を知っている人　2)御座の祝福を知っている人  3)神様の計画を発見した人  2.巡礼者－超越祈り  1)サタンの国-目に見えないサタンの国に勝つことができるべき  2)絶対条件-神様の絶対条件を知っているので、どんな状況でも大丈夫だ。  3)感謝-聖霊の働き、多くの巡礼者の道を行く歩みの中で感謝と聖霊の働きを体験  3.征服者-サタンをひざまずくようにする祈りが征服者だ。  1)絶対目標－暗やみを打ち砕く絶対目標を持っている。  2)見張り人、医者、大使－見張り人、霊的医者、霊的なキリストを代わりに説明する大使  3)空前絶後-個人と教会の働きと事業に必ず空前絶後の答えが来る  □結論\_答えは大きく三つある。  1.100年の答えを受けられなければ世界福音化できない。  2.Remnant7人と重職者は1000年の答えを残した。  3.結局は、その答えはなくならない。永遠の答えだ。  △それで、この三つ、残りの者の価値が何か、巡礼者がどんな祈りを捧げているのか、征服者は何をするのかが分かれば、そのような答えが来る。全くできない状況であったのに、神様の計画は必ず答えが来る。 | イエス様が3年間120人を目標に、すべてを教えて行かれようとしたのだ。なぜ神様が私たちに苦しみを与えられるのか。  □序論\_苦しみという仮面をかぶって真の答えは来るのだ。  霊的な目が暗い人、福音が分からなければ分からない。  1.そのようにされる理由-にせ物のため、目の前の利益だけ追いかけて行くので、苦しみということをもって真の真理を伝達された  2.間違った質問だけ継続するパリサイ人-信仰生活しながら人の声を聞いてはならない。  3.私たちだけでも神様のみことば聞いて神様のみことばついて行く教会になろう。  □本論\_ 120人の初代教会の信徒はどのように世界を福音化したのか  1.「三位一体の神様と御座の力と神の国」根本的な契約を握るときから、働きが始まる。  1)イエス様が教えられたただ一つ－神の国(マタ5:3、6:10、6:33、10:7、12:28-29、使1:3)  2)私たちがしなければならない祈り- 「三位一体の神様が私に臨んでください。御座の祝福が私に臨みますように。この契約を伝達しますように」  3)来る答え－祈りを悟り、霊的な変化、根本(運命)変化、世界を変える力  2.霊的なことを選択するたびに100年の答えが来る  1)悪い心を持って肉的な質問を継続するパリサイ人とイエス様の教え(8-12節)  2) 100年の答えを与えられる理由は世界福音化のため-イサク  3)ヨセフが選択した霊的なことと100年の答え－奴隷(世界福音化の最も確実な道)、監獄(本当に政治家に会う最も良い道)、王の前で(神様が王の夢を解釈することができると告白)  3.未来を見るとき1000年の答えが来る  1)ご自分のところに来た子どもたちを祝福して按手されたイエス様(13-15節)  2)モーセを助けたイテロ長老  3)ダビデに油を注いで契約を伝達したサムエル  □結論\_祈るとき永遠の答えが来る。  1.奴隷として売られて行ったとき祈りを始めたヨセフ  2.サウル王に追われたとき、すべてを祈りに変えたダビデ  3.初代教会、パウロ  △「神様、私の生涯に真の答えを受けますように。御座の答えを私に与えてください。肉を生かす霊的世界へ行かなければならないから、霊的な答えを私に与えてください。これからとても困難な時代が来るために子孫、次世代を生かす祝福を私に与えてください」  △私－福音を分かる残りの者、祈りを分かる巡礼者、伝道を分かる征服者  今週にする祈り- 「残っている時刻表の中で私がしなければならない最も大切なのは何か」 | △神様は新しい時代をずっと開いておられることを見ることができれば、高齢でも用いられる。237か国を見ることができなければ、次世代は奴隷で、237か国を見た人は奴隷になった民を解放させる。  □序論\_　　Nobody人がいないこと  Nothing何も存在自体がないこと  1.誰も見られないこと－初代教会では誰も見られないことを見た。  　　　　　　　　　　　　オリーブ山  カルバリの丘→　　237か国を見た人　　→マルコの屋上の間  1)強大国滅亡　2)イスラエルの滅亡　3)次世代滅亡  2.誰もできないこと  1)強大国－サタンの奴隷　2)弱小国－奴隷　3)イスラエル－お使い  3.誰も止めることができないこと  1)奴隷　　2)捕虜　　3)属国　　4)流浪民  △契約を持つRemnantが入って、これをもって世界福音化をする。私たちが237に関心がないから次世代を奴隷、捕虜、属国、流浪民として送らなければならない  □本論\_　Everybodyすべての人を生かす戦略を使うということ  Everything何もない私たちを呼んですべてがなるようにすること  1.復活されたキリスト(使1:1)絶対答え  1)創造を成し遂げる三位一体の神様!  2)みことばで救いを成し遂げるイエス・キリスト!  3)神様の力で現れる聖霊の働き!  2.神の国(使1:3)  御座の祝福-これでなければ世界福音化できない。職業が237の祝福を受けてこそ世界福音化する。  1) 「神の国のこと」これを握ったこと　　2)そのとき、その所に  3)集中－刻印、根、体質させたこと  3.ただ聖霊(使1:8) -本当に世界を生かすには、ただ聖霊でなければ　3時代  1)過去、今日、未来を神様の力の御手によって変えるべき  2)私、教会、現場につまらないことせずに神の国が臨むべき  3)牧会者、重職者、Remnantは御座の祝福を味わうワンネスになるべき  □結論  1.過越祭、その日(五旬節)、仮庵祭→その日が来たのだ。  1)使1:6-7(問題) -使1:6-7(問題) -教会で世の中、人を話すとき違う。「しかし（ただ）聖霊があなたがたの上に臨めば」何が問題なのか指摘する  2)使1:8(順序) - 「エルサレムとユダヤとサマリヤ」神殿があるエルサレムから働きが起きて、敵でもないが敵になったサマリヤ、地の果てまで証人になると言われた  2.　　　道　　　　　　　三位一体-御座化  →この祝福を味わっていれば道が見える。三位一体の神様と、この御座が私たちに現れる。この契約を正確に握っているこの時間に、神様は主の使い、(御使い、軍勢、天の軍勢)を送られる  1)ヒゼキヤ王　2)ダニエル　3)ダビデ　4)初代教会重職者  5)暴風に会ったパウロ | |